



CONTENTS

決算の認定	2
決算審査意見	3
予算の補正	4
こんな質疑がありました	6
審議された案件	7
合併問題研究会から	8
議会活動日誌	8

発行責任者 片品村 議会
 編集委員 田邊 順一 男
 ◎ 星野 幸一
 ○ 後藤 正喜
 入野 登喜夫
 星野 司
 印刷所 有限会社野村印刷所

片品村

議会だより

PHOTO
 民生観光常任委員会の行政視察
 (富山県小矢部市の保育所施設)

平成14年10月31日発行

第94号

監査委員の審査意見

平成十四年八月二十三日、役場二階農林指導室において、千明良氏・奥原昭夫氏の両監査委員により、平成十三年決算審査が実施され、九月定例会に意見書が提出されました。その内容（概略）は次のとおりです。

◎ 一般会計に

ついでの見解

平成十三年度一般会計の歳入決算額四七億九、一八二万五、五八一円に対し、歳出決算額四六億七、八二一萬八、六〇二円で一億一、三六〇万六、九七九円（内、繰越明許費繰越額三五万五、〇〇〇円）が翌年度に繰り越された。村税の徴収については長期的な景気低迷の中、全国的にも減収の状況の中で、調定額は前年を上回っているが、未収額も前年度を上回っている。今後積極的に努力し、実績を上げられたい。

村債三億六、六三〇万円と基金より三億一、九五四万三、〇〇〇円の繰り入れを行い、主に住民センター二棟、棚田地域等保全整備事業、村道整備等に充てている。過疎対策事業債等有利起債の活用や基金の運用等工夫の成果も上がっている。なお、平成十三年度末の起債現在高は三六億五、

億八、七二五万二、六七三円で、歳出決算額は六億四、四二二万五、二四九円、差し引き四、三〇二万七、三二四円が翌年度への繰越額である。国民健康保険は医療行政の重要な役割を果たしているが、被保険者の高齢化等により今後長期的に厳しい運営が予想される。被保険者の健康保持と合わせて、税負担の抑制にも一層努力を願いたい。

国保税の収納率については九〇・六％と前年よりやや減少しており、滞納金の整理等、自主財源の確保にさらに努力されたい。なお、一人当たりの保険給付費は、一一万七、一八四円である。

・ 老人保健特別会計

予算額六億〇、九〇〇万円に対し、歳入決算額は五億九、九二二万四、八三二円で、歳出決算額五億三、五一四万八、〇四六円、差し引き六、四〇六万六、七八六円が翌年度への繰越額である。

老人医療該当者一、〇七六人の増加に伴い医療費の上昇がみられ、今後益々厳しい状況が予想されるので、老人保健制度の安定運営を行うため、老人の健康管理指導等の充実を望むものである。

・ 簡易水道事業特別会計

予算額一億六、三六〇万円に対し、歳入決算額は一億六、一四四万六、九四二円、歳出決算額は一億六、一四三万四、八八六円、差し引き一、〇五五万六、〇五六円が翌年度への繰越額である。基金の決算年度末現在高は一、〇九〇万円である。基金については、将来的展望に立ってさらに検討されたい。本年も御座人、栗生地区等の配管布設等の整備により、飲料水の安定確保が図られた。計画的な飲料水確保のため努力されており評価したい。

水需用は今後益々多くなる事が予想されるので、水源の確保と共に、長期的展望に立って安定した供給が図られるよう望むものである。なお、水道料徴収についても堅実な運営と維持管理に万全を期するため未収金解消に一層努力されたい。

・ 観光施設事業特別会計

観光施設全体の営業状況では、事業収益六億〇、〇八九万一、一九九円に対し、事業費用五億二、〇三五万九、八二二円で損益計算書の消費税抜き後は、八、〇二二万六、六三五円の純利益となっているが、これは一般会計からの補助金を含んでのものである。前年度

繰越欠損金一〇億一、八九八万七、三〇〇円から当年度純利益を差し引きして、当年度未処理欠損金が九億三、八七六万〇、六六五円となった。資本的収支では収入額一億一、四〇〇万円、支出額二億一、〇五五万六、〇五六円で、この収支の不足額九、七〇五万六、〇一〇円は当年度分損益勘定留保資金で補填した。

長引く景気低迷の続く厳しい中で業績は振るわないが、ロジックまきばの業務改革、活性化を図るためのイベント導入、米客の要望に合わせた取り組み、オグナほかか屋外照明設置、温水ポイラーの購入などに取り組み、努力の成果が見られる。

続いて欠損金を計上する結果になったが、誘客、サービス等研究し今後の事業運営に十分努力され、諸経費の節減等企業努力をするとともに地域の観光事業繁栄の為に貢献されたい。

・ 農業集落排水事業特別会計

予算額四億〇、四〇七万六、〇〇〇円に対し、歳入決算額は四億〇、三八九万九、五八三円で、歳出決算額は四億〇、二五七万六、九六一円で、差し引き一、三三万二、六二二円が翌年度への繰越額である。

花咲地区農業集落排水事業も基本設計に基づき工事に着手し、平成十五年度供用開始に向けて工事が進められている。生活環境整備や自然保護の立場から重要な事業なので、今後とも安全で適切な管理、運営に努められたい。

・ 下水道事業特別会計

予算額四億九、五七四万六、〇〇〇円に対し、歳入決算額は、四億三、五七七万四、四八二円で、歳出決算額は四億三、一〇八万〇、八四二円で、差し引き三、六九三、六四〇円、うち、繰越明許費繰越額三一三万五、一五〇円が翌年度への繰越額である。

この事業は県代行事業と村下水道事業とで進めており、一部が平成十三年八月一日から供用開始になっている。今後、加入者の増加を図るとともに、河川環境保護や水質保全の立場から重要な事業であり、公害のない安全な施設が完成されることを望むものである。

・ 介護保険特別会計

予算額二億三、六八二万六、〇〇〇円に対し、歳入決算額は二億六、八一三万五、七〇六円で、歳出決算額は二億三、二〇一萬〇、九九九円で、差し引き三、六一二万四、七〇七円

が翌年度への繰越額である。我が国では、急速な高齢化とともに介護の問題が大きな課題となっていた。これに対応するため長い間検討されてきたのがこの制度であり、片品村においては要介護、要支援等多くの対象者があり、介護保険導入当初から大きな役割を果たしているものである。今後、更なる制度の充実を期待したい。

◆ 結 論

一般会計及び特別会計とも決算は止しく、証憑書類も良く整理されて会計経理は完全であり、良好と認められる。

村税の減収等財政の厳しい中、住民センター建設、道路整備等村づくりの基礎となる事業の推進を図るとともに、生活環境基盤の整備、住民に密着した事業が実施されたことは、村民の福祉の向上に貢献したものと考える。また、低金利、

不況等厳しい経済情勢の中で財政の効率的運営にも配慮している点も評価したい。観光入り込み客の低迷する厳しい状態の中で、観光事業も努力が伺えるが、今後、さらに研鑽を重ね積極的な企業努力を行い、村民の期待と信頼に添えて頂きたい。

行政改革、地方分権、少子高齢化への対応、市町村合併問題等々の直面する行政問題に対応するため、安定した事業計画の立案に心懸け、特に第二次総合計画等、整合性に配慮して、バランスのとれた住民福祉の向上と明るく活気ある村づくりのための施策を望むものである。また、職員の資質の向上を図り、住民の期待にこたえる行政執行がなされるよう一層の努力を希望したい。

本決算処理完結のため事務執行に尽力された各位に深く敬意を表し報告とした。



こんなことが決まりました

一般会計は、農道整備・国体ジャンプ台設計委託料など
二億九、七〇〇万の補正

今回の補正は、一般会計で総額二億九、七〇〇万、〇〇〇円の増額となり、予算総額は四億八、五八五万円となりました。
款別で見ると、歳入の主なものは、基金繰入金二億〇、四三七万一千円の増額と地方交付税の七、五〇〇万円の増額です。
また、歳出では諸支出の一億七、〇〇〇万円、農林水産業費の七、一八三万六千円、教育費の三、〇三〇万一千円、民生費の一、五三万六千円（それぞれ増額）が主なものです。

一般会計補正予算 (第二号)

歳入及び歳出(単位:千円)
補正前 四〇億八八六九万四
補正額 一億九七二万五
補正後 四二億八五八五万〇

補正内容の主なものは、歳入では地方交付税、財政調整基金からの繰入金のほか、農林水産業費関係の補充金としての県支出金(一、五〇四万三千円)の増額で、歳出では民生費でデイサービスセンターと社会福祉協



▶ 国体開催に向け、改修が予定されている片品ジャンプ台

国保特会は 一一七万円の増

国民健康保険特別会計 補正予算 (第一号)

歳入及び歳出(単位:千円)
補正前 六億〇六七九万五
補正額 一一七万〇
補正後 六億〇七九六万五

補正内容の主なものは、歳入では基金繰入金(八一

四万三千円)の増額と繰越金(△六九七万三千円)の減額で、歳出では管理システムの更新に伴う総務費(一一二万円)の増額などによるものです。

老保特会は
三、二六五万円の増

老人保健特別会計

補正予算(第一号)

歳入及び歳出(単位:千円)
補正前 五億七九七三万八
補正額 三、二六五万六
補正後 六億一、三九万四

補正内容の主なものは、
歳入では国庫支出金(一、一
万三千円)と繰越金(三、
二、五四万三千円)の増額で、
歳出では総務費(二、二万四、
諸支出金(四九四万二千円)、
予備費(二、七五〇万五千
円)の増額などによるもの
で、繰越額などの確定によ
る補正です。

下水道事業は
二、一〇〇万円の増

下水道事業特別会計

補正予算(第二号)

歳入及び歳出(単位:千円)
補正前 一億六五八〇万〇
補正額 二、一〇〇万〇
補正後 一億八六八〇万〇

補正内容の主なものは、
歳入では下水道事業の補助
金としての県支出金(一、
〇六五万円)と一般会計か
らの繰入金(一、〇三五万
円)の増額で、歳出では下
水道管理設工事費としての
事業費(二、一〇〇万円)
の増額によるものです。

簡水事業は
八〇一万円の増

簡易水道事業特別会計

補正予算(第一号)

歳入及び歳出(単位:千円)
補正前 一億三、八四万〇
補正額 八〇一万二
補正後 一億三、八五万二

補正内容の主なものは、
歳入では一般会計からの繰
入金(一、〇〇〇万円)の
増額と繰越金(△一九八万
八千円)の減額で、歳出で
は水道監視装置の維持管理

介護特会は
八五万円の増

介護保険特別会計

補正予算(第一号)

歳入及び歳出(単位:千円)
補正前 一億二、九〇〇万〇
補正額 八五万〇
補正後 二億三、九八五万〇

補正内容の主なものは、
歳入では国及び県の介護給
付費負担金(合わせて一八
万七千円)、一般会計から
の繰入金(四、一、二、二、
円滑導入基金からの繰入金
(二、五、一、二、二、二、

教育委員には
大竹氏を再任

教育委員には

大竹氏を再任

片品村教育委員会委員の
大竹長久氏が任期満了とな
りますが、大竹氏におかれ
ましては、識見も高く適任
者であり、引き続き頑張っ
ていただきたいということ
で、再任されました。
・大竹長久氏(須賀川)

その他の主な議決事項

●片品村条例の用語等の 統一に関する措置条例

今年度、片品村例規集の
電算化を予定していますが、
これを機会にこれまでの村
の例規集の用語、旧かな使
い等を見直し、統一基準を
設けるために、この条例を
制定するものです。



●片品村国民健康保険税条例の一部を改正する条例

健康保険法等の一部を改正する法律が平成十四年八月二日に公布されたことに伴い、改正するものです。今回の改正は、医療保険制度の改正に合わせて、国民健康保険税所得割の課税

ベースとなる所得を個人住民税における所得と整合的なものになるよう見直すことにより、納税義務者間の税負担の公平性の確保等を図ろうとするものです。

●利根沼田広域市町村圏振興整備組合規約の一部を改正する規約

昨年十二月の保健婦助産婦看護婦法の一部改正に伴い、資格の名称が「看護婦」から「看護師」に変更になりました。このため、広域圏で共同処理する事務のうち、看護婦修学資金に関する

事務について定められている用語の改正を行うもので、規約の中の第三条第十二項中「看護婦修学資金」を「看護師修学資金」に用語の改正をするものです。



こんな質疑がありました

花の駅片品品の管理委託料？

【質問】千明貞夫議員
農業構造改善事業費の関係で、花の駅の管理委託料

について、詳しく説明願いたい。

当初で充分な予算が取れなかったために補正するもの

【答弁】(経済課長)

花の駅の管理委託料については、当初予算の段階で、一億二、〇〇〇万円くらいかかるの見込んでいたが、予算を組む関係で六、〇〇〇万円ほどしか取れなかった。そういったことで残りが不足をしているので、今回の補正で三、〇〇〇万円の委託料をお願いした。

【質問】(千明貞夫議員)
必要な額は一億二、〇〇〇万円、当初で六、〇〇〇万円組んであり、追加が三、〇〇〇万円、そうすると、あと三、〇〇〇万円くらいは必要であるということか。

【答弁】(経済課長)

あと、残り三、〇〇〇万円くらい不足が出ているが、最終的には調整をして必要な部分だけを出している。今の段階では、そういった状況である。

意見書が可決され各関係大臣等に提出されました

◆地方税源の充実確保に関する意見書

現下の地方財政は、長引く景気の低迷による大幅な税収減に見舞われ、その財政運営は危機的な状況にある。

記
されるよう強く要望する。

一方、地方分権の進展に伴い、地方自治体が担う役割はますます増大し、少子・高齢化の進展に伴う地域福祉施策の推進、資源循環型社会の構築に向けた環境施策の推進、生活関連社会資本の整備、地域産業の振興・育成対策など、地域の実情に即した施策を積極的に展開していく必要がある。

一、固定資産税は、町村の財政を支える基幹税目であるので、平成十五年度の評価替えに当たっては、一層の負担水準の均衡化、適正化を推進し、その安定確保を図ること。
二、法人事業税への外形標準課税の導入については、都道府県財政の安定化は町村財政にとっても極めて重要であることから早期導入を図ること。
三、ゴルフ場利用税は、廃棄物処理や環境対策など、ゴルフ場所在の町村の行政サービスと密接な関係を有し、本税の一〇分の七が町村の貴重な財源となっていることから充実確保を図ること。
四、特別土地保有税は、土地の有効利用を阻害するものでなく、未利用地の有効利用の促進

このような状況下において、われわれ自らの行政改革を一層積極的に進め、財政の健全化に努めることは勿論であるが、増大する住民の行政サービスのニーズにこたえていくためには、地方税源の充実確保を図って行くことは地方自治体にとって極めて重要である。

よって、平成十五年度税制改正に当たっては、下記の事項について実現

という現在の土地政策に適合したものであることから、本税については堅持を図ること。

以上、地方自治法第九十九条の規定により意見を提出する。

平成十四年九月十三日

片品村議会
議長 田邊順一

内閣総理大臣
総務大臣
総務省自治税務局長
財務大臣
文部科学大臣
経済産業大臣
国土交通大臣
衆議院議長
参議院議長
地元選出国會議員

殿

九月定例会

(九月三日、十三日)

審議された案件

- ・片品村条例の用語等の統一に関する措置条例の制定について
- ・利根沼田広域市町村圏振興整備組合規約の変更について
- ・平成十三年片品村一般会計歳入歳出決算の認定について
- ・平成十三年片品村国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について
- ・平成十三年片品村老人保健特別会計歳入歳出決算の認定について
- ・平成十三年片品村簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- ・平成十三年片品村観光施設事業特別会計決算の認定について
- ・平成十三年片品村農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- ・平成十三年片品村下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- ・平成十三年片品村介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について
- ・平成十四年片品村簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- ・平成十四年片品村国民健康保険特別会計補正予算(第一号)について

いて

- ・平成十四年度片品村老人保健特別会計補正予算(第一号)について
- ・平成十四年度片品村簡易水道事業特別会計補正予算(第一号)について
- ・平成十四年度片品村下水道事業特別会計補正予算(第二号)について
- ・平成十四年度片品村介護保険特別会計補正予算(第一号)について

算(第一号)について片品村国民健康保険条例の一部を改正する条例について

- ・片品村教育委員会委員の任命について
- ・地方税源の充実確保に関する意見書
- ・閉会中の継続調査申し出について

※全案件とも原案どおり可決、承認されました。

臨時時會

(七月二十三日・八月七日)

花咲農集排処理施設と南保育所の工事契約が議決されました

- 花咲農集排処理施設**
- ◆ 契約の目的
農業集落排水事業花咲地区汚水処理施設土木・建築工事
 - ◆ 契約の方法
指名競争入札による契約
 - ◆ 契約金額
一億四、五九五万円
 - ◆ 契約の相手方
沼田市東原新町一八三二一
山内工業株式会社
取締役社長 中神知子
- 南保育所**
- ◆ 契約の目的
片品村立片品南保育所新築工事
 - ◆ 契約の方法
指名競争入札による契約
 - ◆ 契約金額
一億八、九〇〇万円
 - ◆ 契約の相手方
沼田市上原町一七五六一
萬屋建設株式会社

取締役社長 星野雅子

工期 契約の日から平成十四年十二月二十七日まで

議会だよりに関するご意見募集!!

「議会だより」に関するご意見を募集します。

読みづらい・内容が分からない・こんな記事を書いて欲しいなど、どんなことでも構いませんので、ご意見をお寄せ下さい。

E-mail: gikai@vill.katashina.gunma.jp
FAX 58-3796
TEL 58-2111 (内線53)



議事を傍聴してみませんか

議会定例会は三月、六月、九月、十二月の年四回開催されます。議会が開かれている間で、村民の皆さんが都合のよい時間に傍聴することができます。

傍聴を希望する方は、議会事務局までお問い合わせ下さい。

電話 五八二二二一
(内線五三)

片品村議会事務局

※ご意見、ご要望もお待ちしております。



合併問題研究会から

去る九月十六日、高崎市の市民文化会館で合併に関するシンポジウムが開催され、本村議会からは正副議長と各常任委員長が参加しました。

冒頭、政府の市町村合併支援本部の副本部長である佐田玄一郎総務副大臣、小寺弘之知事はかのあいさつに続いて、昨年一月に十数年がかりで新潟市との合併へ漕ぎ着けた旧黒崎町長、河内直史氏の体験報告が行われました。

この後、パネリストに県市長会長の松浦幸雄高崎市長、町村会長の針ヶ谷照夫板倉町長、評論家の俵明子氏ら五名を迎え、メイン行事であるパネルディスカッションが行われました。

この中では「地域の人々の夢を実現するためにはある程度の自治体の規模が必要」といった意見や「合併は結婚と似ている。始めに金ありきで考えるのでは夢がない・夢がないと結婚できない」「合併特例法の期限内に決めるのは酷。決して焦ることなく、十分に論議した方がいい」となど、討論が活発に行われました。

合併問題を結婚に例えるのが良いかどうかは別として、夢を持って自治体の将来を考えていくことは、とても大切なことではないでしょうか。五十年後、

百年後の片品村を考えて行く時、そこに夢があるとすれば、自ずと良い方向に導かれて行くのではないのでしょうか。

また、村の歴史が変わってしまような大きな問題なので、敢えて、特例法の期限にこだわらず、十分に論議することも必要だと感じました。

去る八月三十日に「利根沼田地域任意合併協議会設立準備会」が片品村を含む利根沼田九市町村の参加のもとに発足しました。来年一月に予定されている「利根沼田地域任意合併協議会」の設立へ向けての準備会ですが、準備会・合併協議会ともに参加、脱退は自由というものです。

これ以前、八月七日に片品村議会合併問題研究会が開催され、準備会に参加するかどうかの検討が行われました。ここでは、合併協議会が、合併を前提とした法定協議会ではないこと、村独自で情報を集めるよりは協議会の活動を通して情報を収集したほうが迅速かつ効果的に行えるだろう、ということに参加する方向で決定されたものです。

片品村議会としては、あくまでも情報を収集するために参加するのであり、合併を前提として参加するものではない、ということをお願いしたいと思います。

議会活動日誌

8・1	利根川治水同盟大会	30	利根沼田地域任意合併協議会設立準備会	12	団体関係陳情	政視察会
7	第5回臨時会	//	利根沼田広域園議員協議会	13	第6回定例会	10・6 消防秋季点検
//	議会合併問題研究会	//	利根郡町村議会議長会	16	合併を考えるシンポジウム	8 老人大会
8	老人クラブゲートボール大会	//	利根地方総合開発協会理事会	17	総合観光イベント委員会	9~10 正副議長・正副委員長・事務局長研修会
12	国民健康保険運営委員会	//	郡民体育大会団結式	18	全国地域交流対抗ゴルフ大会結団式	10~11 社会福祉協議会役員視察研修
//	観光施設事業運営委員会	9・3	第6回定例会	19	利根東部施設組合協議会定例会	13 郡民体育大会
//	簡易水道事業運営委員会	//	決算説明会	24	小口資金融資審査会	15 群馬県町村議会議員研修会
21	南保育園起工式	//	福祉パレード	20	農協長杯グランドゴルフ大会	16 利根片品議会議員親善大会
//	花咲農集排施設起工式	//	尾瀬サミット	//	利根東部施設組合協議会定例会	22 利根沼田地域任意合併協議会設立準備会
21~22	榎枝岐議会との交流会	5	総務文教常任委員会	25~26	総務文教常任委員会行政視察	23~24 産業建設常任委員会行政視察
25	縣市防災演習	9	民生観光常任委員会	27	北保育園運動会	25 利根沼田広域園議員協議会
27	利根郡社会福祉大会	//	片品中体育祭	28	南保育園運動会	//
28	利根沼田学校組合協議会	10	産業建設常任委員会	29	片品保育園運動会	利根郡町村議会議長会
29	正副委員長会議	//	高齢者慶祝訪問	30~1	民生観光常任委員会	
//	全員協議会	//				

編集後記

▼刈り田に晩秋の風が通り抜けて行く。収穫に汗を流す人々、心の時代を象徴する片品の光景にほのかな癒しを感じている。▼長引く景気の低迷、方向性のない国の経済政策、期待を削ぐ景気感に、心すら沈みがちであるが明日に夢を託し希望の炎は燃し続けたいものである。▼さて、九月定例会では、十三年度一般会計決算を始め特別会計決算等の認定、さらに十四年度一般会計及び五特別会計の予算補正、また、議員発議一件、片品村教育委員会委員の任命等が上程され、全案件とも認定、承認された。▼国の行財政改革は地方自治に大きな影響を与え地方への支出削減に村当局も苦慮されている。福祉の向上や住民の利益を守る自治体が目指す施策等に若干の遅れも出てきよう。▼厳しい財政状況の中では、村民の認識として耐えることも必要であろうし、その窮状の中から自ら開拓し切り開く精神を持つことも必要であろう。村民の皆様の前向きな活力に期待したい。▼一喜一憂する冬の主産業であるスキーシーズンが間近に迫っているが、スキー産業の盛衰は年を追う毎に危機感を募らせる。変わり行く時代に即した取り組みとニーズに応える意識改革が必要な時ではなからうか。▼北西の風が梢を揺らす風の行方にスキーシーズンの行く末を占い、枯野を覆うであろう白銀にスキー産業の繁栄を願うばかりである。

(幸男記)